

佐倉市青少年相談員連絡協議会 事例紹介

（凧作り大作戦～おうちで凧作り体験企画～）

凧作りのコツや楽しさを紹介する動画と、解説書を青少年相談員が作成し、小学生を対象に、凧作りキットを配付。各家庭で制作した凧の作品画像を募集・表彰しました。

応募総数 275、内、青少年相談員事業に初参加の小学生は 111 名、多くの子どもたちの新たな参加にも繋がりました。



動画作成の様子



凧作りキットの配付



表彰作品を広報誌で紹介

【凧作り大作戦～おうちで凧作り体験企画～について】

佐倉市では、6月のソフトドッジボール交流大会、1月の凧あげ大会、3月の綱引き大会を恒例事業として行ってきましたが、感染症の拡大防止により、全ての事業が中止となりました。

それでも、毎年11月～12月に開催していた1月の凧あげ大会(大会は中止)に向けての凧作り講習会は、工夫をして実施を致しました。

そのことにつきましてご報告致します。

今回は、感染症拡大防止の観点から、【凧作り大作戦～おうちで凧作り体験企画～】として、集合型から自宅で行う方法に変更し、家族で協力し合いながら取り組んで頂くことも想定し、設計図の他、市広報課の協力を得て、作成手順の動画も用意しながら準備を進めました。

また、千葉電子システムで、応募を受け、作成後の作品も千葉電子システムで受信し、更にアンケートも同システムを使い受け付けました。

青少年相談員トピックスに掲載の表彰対象の選考は、連協役員その他、市長、教育長にも選考に加わって頂き、20の作品を選出し表彰しました。

凧作りキットの配布は、市内4公民館の協力により1週間をかけ、受け取りやすいように行いました。

佐倉市の8地区中、例年では5地区の開催で参加者は延べ100名程ですが、今回は市連協の事業として、形を変えて開催したところ、佐倉全域から275名の参加があり、またアンケートによると、今回のたこ作りをきっかけに相談員事業に初参加の子どもたちが、111名だったことも大きな成果となりました。